

学部児童文化班の学生も参加して、紙芝居やおはなし会等が盛んに行われました。こうした活動は、昭和33年(1958)に、児童会館(現在の宮城県中央児童館)が開設されるまで続きました。

昭和43年(1968)に、市町村図書館、公民館への本格的なサービスとして配本車を運行し、「えほん文庫」「小学生文庫」等のセット貸出を始めました。また、翌44年(1969)から平成6年(1994)までは、移動図書館車「こかげ号」で、山や海の分校の子どもたちにも本を届けました。

子どもと本の出会いのために

現在の宮城県図書館は平成10年(1998)3月に新築オープンしましたが、ここでの児童サービスは、「子ども図書室」と「児童資料研究・相談室」で行う直接サービスと、協力貸出などの市町村図書館・公民館図書室への支援業務の2つが中心となっています。

子ども図書室には約17,000冊の絵本や紙芝居、読み物、図鑑などがあり、昨年4月から12月までの9ヶ月間だけでも約150,000冊の貸出がありました。

また、児童資料研究・相談室には、約80,000冊の資料が整理、保存されており、石井桃子さんの全集など、児童書関係の研究に役立つ資料が整っています。さらに、子ども図書室の貸出用とは別に、毎年出版される約3,300冊の児童書をすべて収集し、整理していますので、いつでも手にとって読んだり、調べたりすることができます。児童書関係の調査相談(レファレンス)もここで行っています。

児童サービス関係の行事としては、毎年春に、その前年に新しく出版された児童書の中から約1,400冊を選んで、「子どもの本の展示会」を開催しています。今年の第31回展示会は、5月11日(木)から14日(日)まで、「ホール養賢堂」で開きます。展示会はその後、市町村図書館や公民館を巡回する予定です。毎年秋に開催している「読書活動研究集会」をはじめ、「子ども読書年」にちなんだ記念行事も計画しています。

石井桃子さんは子どもが本と出会うことの意味について、次のように語っています。「その物語が非常におもしろくて、子どもの心に沈み込めば、それは、その子が大きくなるにつれて、だんだん深い意味をもってよみがえってきます」(『子どもと文学』 福音館書店 1967年)と。

子どもにとって読書は何より楽しみであり、子どものころに出会った本は、その人の一生に大きな影響を与えるものです。宮城県図書館は「子ども読書年」を新たな契機に、図書館のない町や村も含めて、子どもたちによりよい読書環境を提供していきたいと考えています。

利用者のこゝろ

●子ども図書室で

ボイド・空くん(4歳)と
母親の美佳さん(仙台市在住)



—どんな本が好きですか？

空くん「カブト虫とかの昆虫図鑑。恐竜や天気の本もおもしろいよ。」

美佳さん「長谷川集平さんや灰谷健次郎さんの本が好きです。最近読んだ絵本では、『GUESS HOW MUCH I LOVE YOU(どんなにきみがすきかあててごらん)』(S.McBratney 文 A.Jeram 絵 Walker Books 1994)がおもしろかったですね。息子も私も子ども図書室が大好きです。子どもが自分で本を手にとれるように書棚が低くしてあったり、「くつろぎコーナー」があったりと、よく工夫されていると思います。」

●児童資料研究・相談室で

高橋裕子さん(仙台市在住)



—児童資料研究・相談室はどのように利用していますか？

高橋さん「女性学を学ぶ会・仙台」というグループに参加しています。今は、絵本の中で父親と母親がどのように描かれているかをテーマにして調べていますので、この研究・相談室は心強い味方です。」

—心に残る児童書は何ですか？

高橋さん「『秘密の花園』(バーネット作)です。この本は私が児童書を読むきっかけになった本です。作者の人間に対する深い洞察が改めてわかったような気がします。『少女ポリアンナ』(ポーター作)からは、プラス思考を学びました。いくつになっても心に残る児童書があるものですね。」



児童資料研究・相談室

児童書や子どもの読書に関する研究資料があります。児童文学の研究など、児童書関係の調査相談(レファレンス)も行っています。



カウンター

「ぼくのカード、まだかな？」
子どもの利用カードは宮城県出身の絵本作家・とよたかずひこさんのオリジナルイラストです。



検索用パソコン

「あの本あるかな？」
タッチパネルなので、簡単に本が探せます。



おはなしコーナー

「紙芝居のはじまり、はじまり…」
お友達や家族でおはなしや紙芝居を楽しんでください。ボランティアの方による紙芝居の実演もあります。



よみもの本

「きょうはこれを全部よみきるぞ」
日本と外国の読み物の本が、それぞれ著者の名前の順番に並んでいます。探している本が見つからないときはカウンターで聞いてみてください。